



当別町コミュニティバス運行事業の概要

北海道 当別町



当別町の概況



北海道石狩郡当別町(H26. 04. 01)

- ◆人口: 17, 377人
- ◆世帯数: 7, 600世帯
- ◆高齢化率: 28. 28%
- ◆面積: 422. 71km²
- ◆気候(H25年)
 - ・最高気温: 30. 0℃
 - ・最低気温: -19. 0℃
 - ・降雪累計: 957cm





冬のイベント

ロイズアイスヒルズホテルin当別



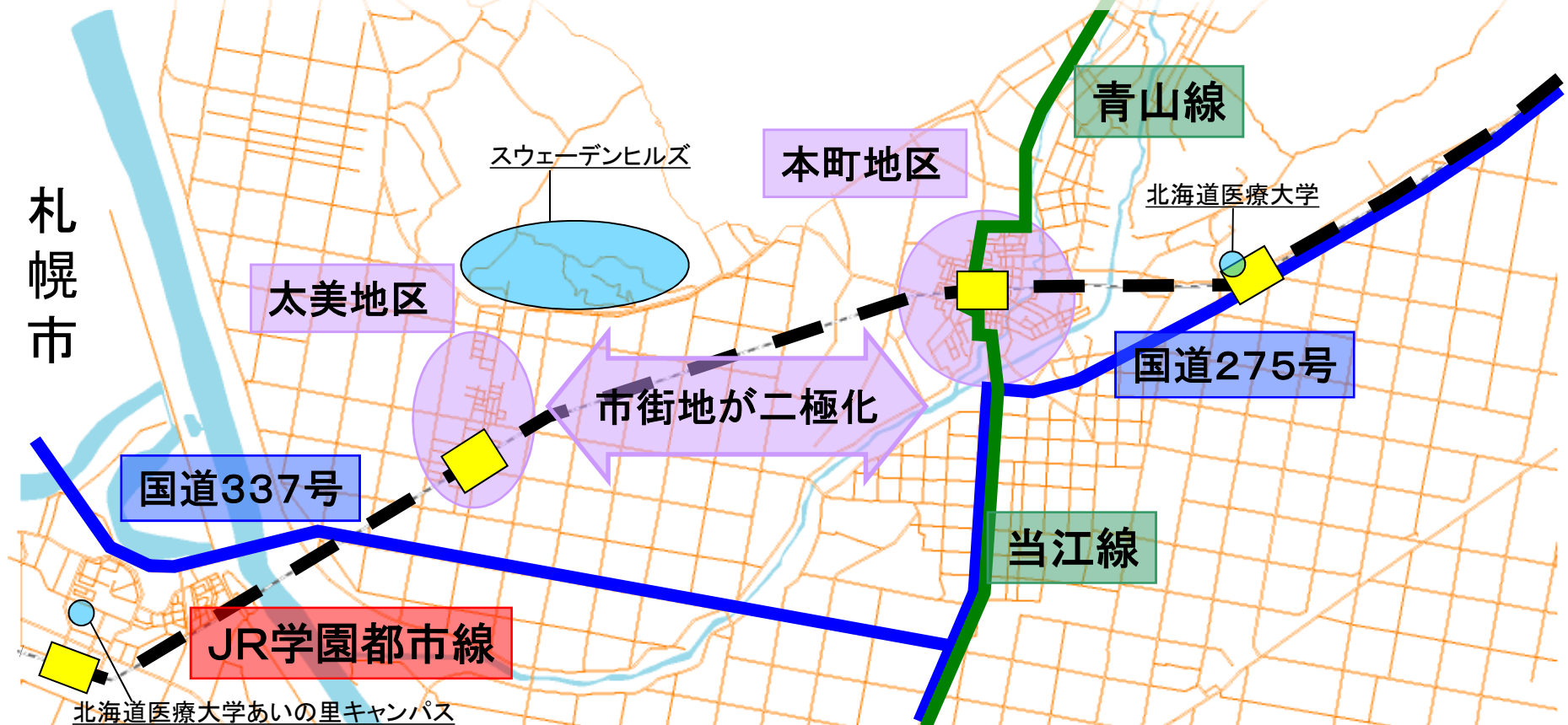
第33回あそ雪の広場



当別町の交通の特徴(平成17年当時)



- ① JR(学園都市線)があり、市街地がJR駅を中心に二極化、その他は広大な農地で住宅が分散
→ 市街地を結ぶ公共交通はJRのみ、駅へ向かう公共交通は無い
- ② 住民対象の路線バスは2路線のみ、企業等がその代替として、無料送迎バスを多く運行
→ 送迎バスは利用者が決まっているため、一般の住民は利用できない



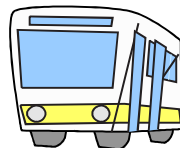
当別ふれあいバスの概要



同じような時間帯に同じような路線を運行していたバス



路線バス・福祉バス
(当別町)
対象者: 一般住民



医療機関等送迎バス
(北海道医療大学)
対象者: 患者・学生



地域限定住民送迎バス
(スウェーデンハウス)
対象者: 限定住民

問題①

重複している路線

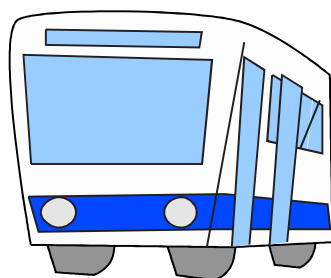
問題②

それぞれで負担している経費

問題③

利用者が限定されているバス

一元化



路線・経費を一つにまとめてみんなが利用できる
コミュニティバスとして平成18年4月から運行開始

一路線200円

利用しやすいツーコイン
同じ路線ならどこまで乗っても
200円！

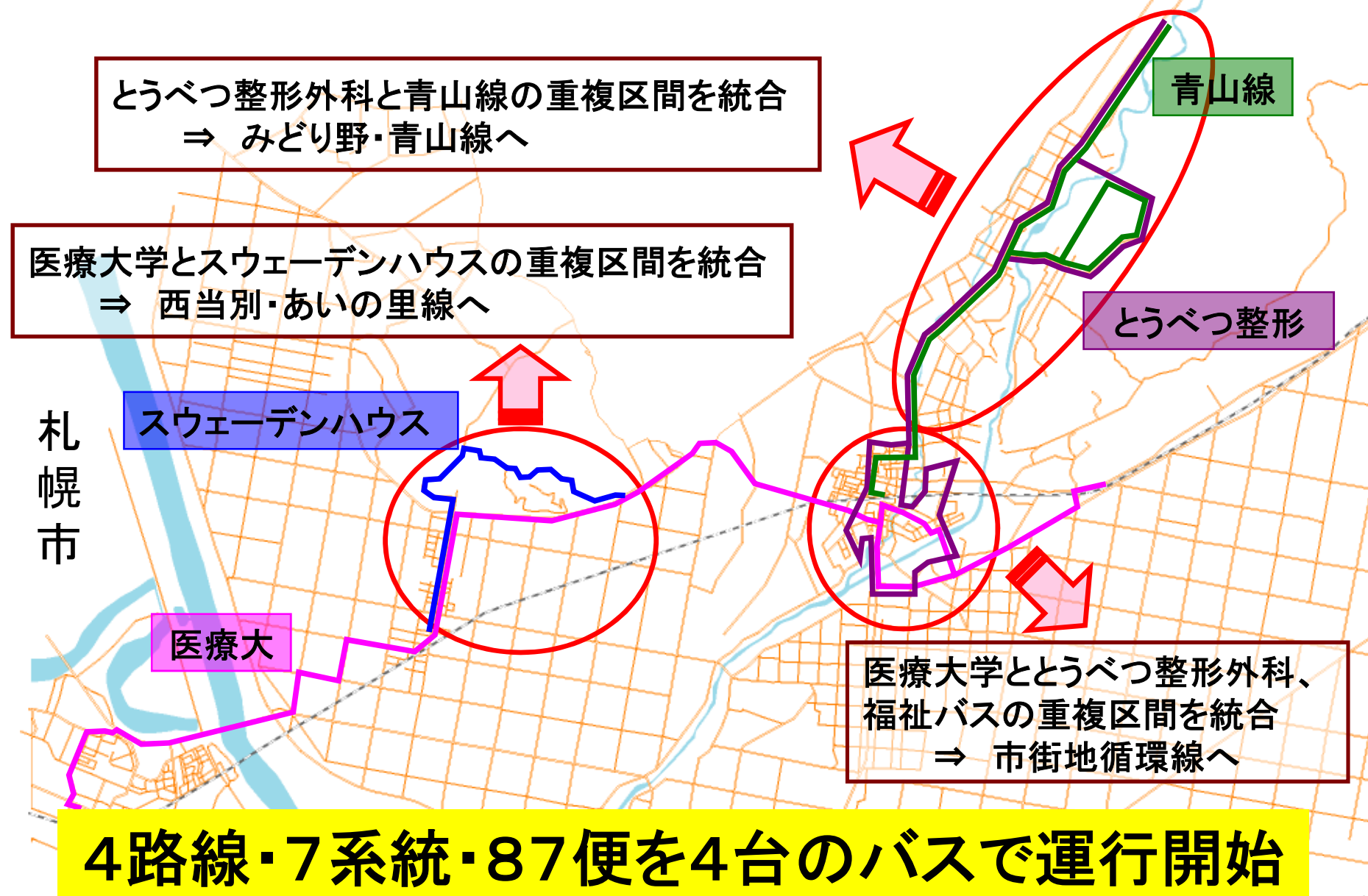
乗り放題の応援券

全路線・全便乗り放題の
応援券があります
バスを住民に応援してもらう
意味を込めての名前です

無料チケットも発行

大学と医療機関では無料
チケットを配布しています
病院・学校利用者は無料で
バスを利用できます

当別ふれあいバスの路線(平成18年実証運行)





運行事業の実施～運賃

- ☆1回一路線 : 200円(小学生・障がい者100円)
- ☆回数券 : 一般2,000円(12枚綴)、小学生・障がい者2,000円(24枚綴)
- ☆無料チケット : 通院及び通学用(参加事業者施設の利用)
- ☆応援券 : 全路線乗り放題の定期券(金額下表参照)
- ☆子ども定期 : 夏休み冬休み限定の乗り放題格安定期(小学生500円、中学生1,000円)
- ☆1日乗車券 : 1日バスが乗り放題になる(一般500円、小学生・障がい者300円)

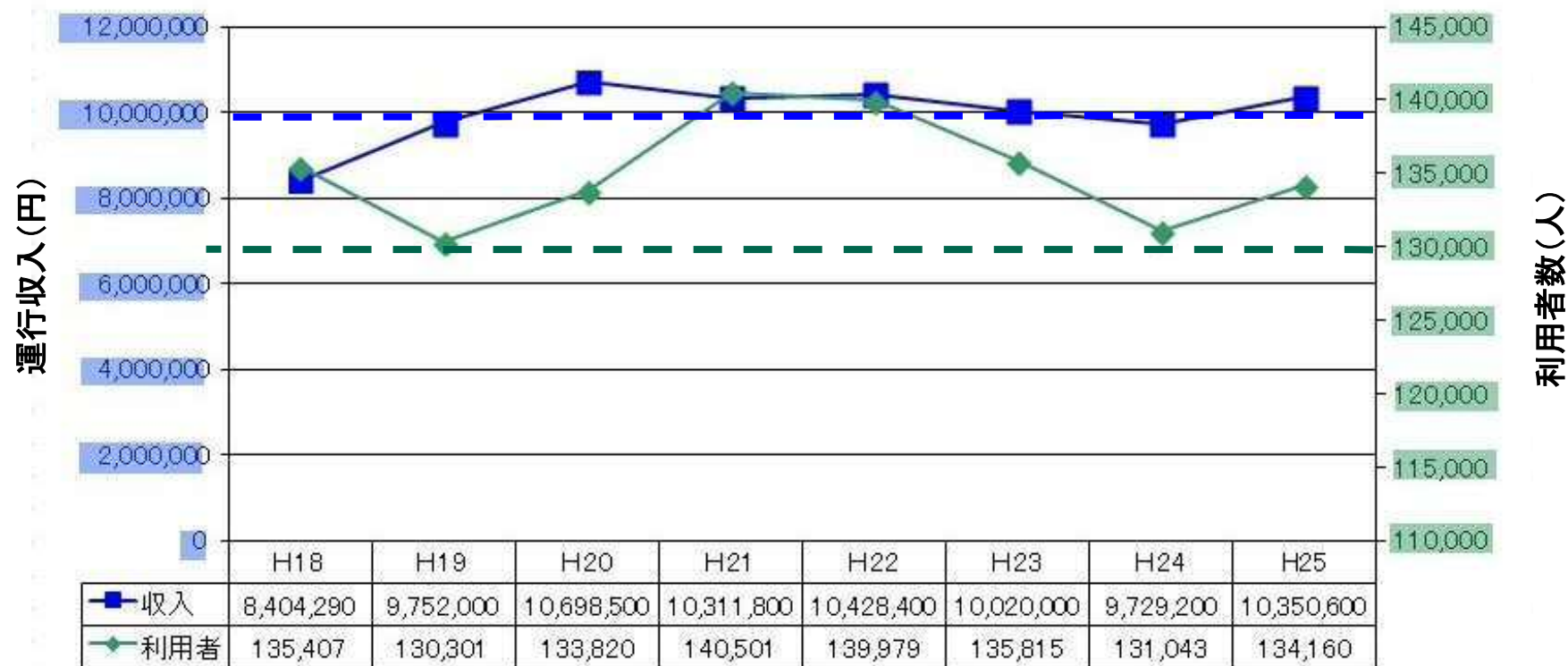
◎料金形態の変遷

形態		H18	H19	H20	H21	H22	H23～
応援券料金	1ヶ月	1,500円	2,500円	4,000円	→	→	→
	3ヶ月	4,000円	6,000円	10,000円	→	→	→
	6ヶ月	8,000円	10,000円	16,000円	→	→	→
	12ヶ月	12,000円	廃止	→	→	→	→
その他		無料チケット開始	回数券開始		小学生回数券開始 子ども定期開始	1日乗車券開始	



運行事業の実施～利用者

運行収入と利用者数の推移

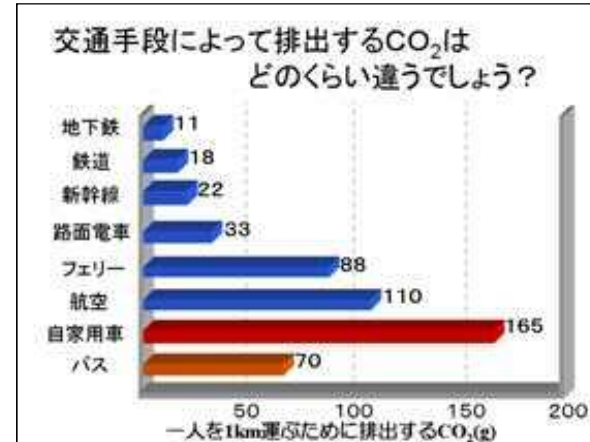
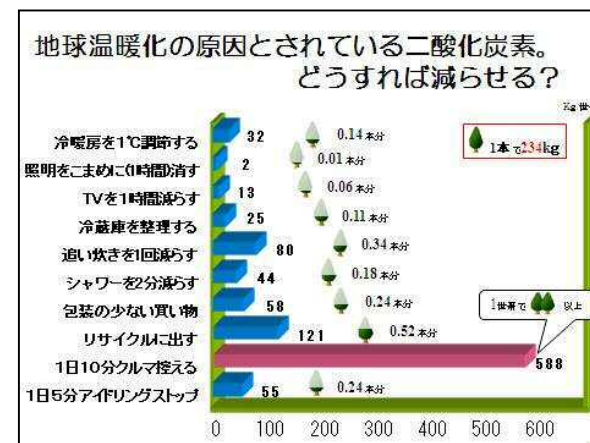
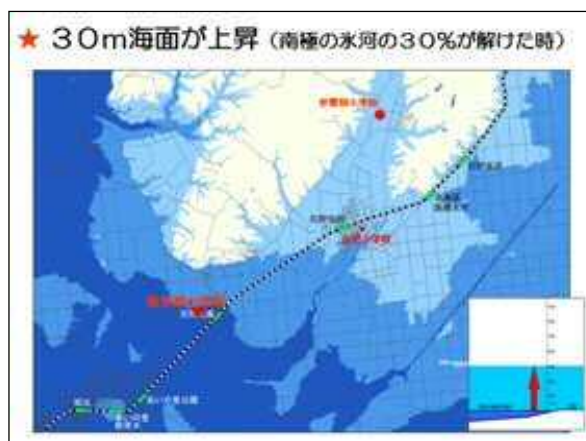




小中学校向けモビリティ・マネジメントの実施

実施内容 地球温暖化の視点から公共交通の重要性を説く「かしこいクルマの使い方」と、当別ふれあいバスでしているバイオディーゼル燃料を学習する「バイオディーゼル燃料の学習」の授業を実施。

実施結果 平成25年10月25日、10月29日、10月30日 当別小学校5年生「かしこいクルマの使い方」の実施と「行動プラン法」等の実践。
平成25年11月26日、11月28日 西当別小学校5年生「かしこいクルマの使い方」の実施と「行動プラン法」等の実践。





バス待合所の整備

設置概要

整備にあたっては、地域にバスに対して主体的関与を持ってもらうために、整備後の維持・管理を町内会や地域にお願いするよう、設置希望を募った。

デザインは、既にスウェーデンヒルズ内に設置されている待合所と同様のスウェーデンハウス風として、統一感を図った。

設置の条件

- 1 設置にかかる費用及び大規模な修繕は協議会が負担
- 2 維持管理や照明等の電気料金負担は町内会又は停留所付近の地域・企業が行う
- 3 建物設置の底地については無償貸与いただけること

設置写真



「ヒルズ管理センター」停留所



「田西会館」停留所



ノンステップバスの導入



ノンステップバス車両「ポンチョ」購入



音声映像案内システム整備



同時開催：第4回とうべつさわやか駅伝&とうべつBrandeli'コラボ企画



利用促進事業の実施



コミュニティバスと、まちの情報をとお届けします。 2009年12月1日発行 発行：当別町地域公共交通活性化協議会

とうべつバス通信 第4号

毎日運行中です

あいの里公園駅発 0:35

すいすい SuiSuiふれバ

一律 **1,000円** 金・土 限定 予約制 深夜バス

またこの乗券+500円

ご利用方法

- ① 電話で予約
0133-23-2630
運行会社：下段モーターズ
受付…2週間前～当日20時まで
- ② 乗車(あいの里公園駅)
発車…0:35
- ③ 降車(当別町内バス停)
※青山線のみどり野以北を除く

●ご予約時には、住所・氏名・連絡先(携帯)・降車バス停などをお伝えください。
●乗車当日20時以降キャンセルの場合はキャンセル料(1,000円)をいただきます。

有効期限：2009年12月23日～2010年1月1日

小学生 500円
中学生 1,000円

お好きな定額券です。ぜひご利用ください。

【販売場所】下段モーターズ、ふれあい会館、当別町商工会、とうべつ整形外科、高齢者クラブ連合会(当別町社会福祉協議会内)、小島商店、スウェーデン・カル管理センター

割引有効期限：平成22年3月末

1枚で使うと…
料金1,000円のところ半額の**→500円**
応援券提示500円のところ**→250円**

2枚合わせると…
料金1,000円のところ**→無料**
応援券提示500円のところ**→無料**

ニュースレター

ふれバ 当別町ふれあいバス 利用促進事業第3号

冬やすみもバスに乗って出かけよう！

冬休み子ども定期券発売中！

夏休みに好評だった「夏休み子ども定期券」が、冬休みにも登場！
「冬休み子ども定期券」を利用して、冬休みの自由研究やクラブ活動、遊びに当別町ふれあいバスをフル活用しよう！

「冬休み子ども定期券」購入について

●販売期間：2010年1月17日(日)まで
●有効期間：2009年12月23日(水)～2010年1月17日(日)
●料金 小学生/500円 中学生/1,000円
※定期券には、購入時～使用時まで有効とさせていただきます。購入以降の乗降はできません。

「冬休み子ども定期券」は、当別ふれあいバス(当別町内)の専用で購入できます。
●有部会下段モーターズ●ふれあい会館●当別町商工会●当別町社会福祉協議会●小島商店

当別ふれあいバス

絵画・ポスターコンクール 作品募集中！

町内の小学生を対象にした絵画・ポスターコンクールを開催します。
バスが走る当別町の様子や、バスの思い出など、ふれあいバスにまつわる思いを描いてみましょう。

『ふれバ』を描こう！

絵画がポスターを選んで応募してください。

対象：当別町内の小学校に在籍する児童
テーマ：当別ふれあいバス
用紙提出：A3判画用紙(学校で配布します)
担任の先生に提出してください。

しめきり 2010年 1/22 (金)

【絵画】
●素材…自由(立体は不可)
●ふれあいバスについての標語(創作自由)を入れてください。

【ポスター】
●素材…自由(立体は不可)
●ふれあいバスについての標語(創作自由)を入れてください。

【賞について】
低学年・中学年・高学年の部～大賞各1名(賞状及び副賞)他各賞～
応募者全員に参加賞を贈呈
2月中旬から掲示します。入賞作品が多い場合は、順次掲示します。
事務局(当別町企画課内)電話0133-23-3042

金・土限定深夜運行バス

SuiSuiふれバ 乗って得々キャンペーン

12月中の金・土限定！

SuiSuiふれバを予約して12月中に乗車した方に、**2枚組割引券をプレゼント！**

※割引券は、ふれバ乗車時に進呈いたします。※ご利用は、次回乗車時からになります。

SuiSuiふれバとは？ [乗車料金：1,000円(応援券提示500円)]
23:59発あいの里公園行きの最終列車に合わせて、金土限定で運行する、予約制深夜バスです。
電話予約をいただくと、あいの里公園駅を0:35に出発し、ご自宅近くのバス停まで運行します。

【運行会社】有限会社下段モーターズ TEL：0133-23-2630 【お問合せ】当別町地

ふくろう図書館 西当別コミュニティセンター

バスで本が返せます

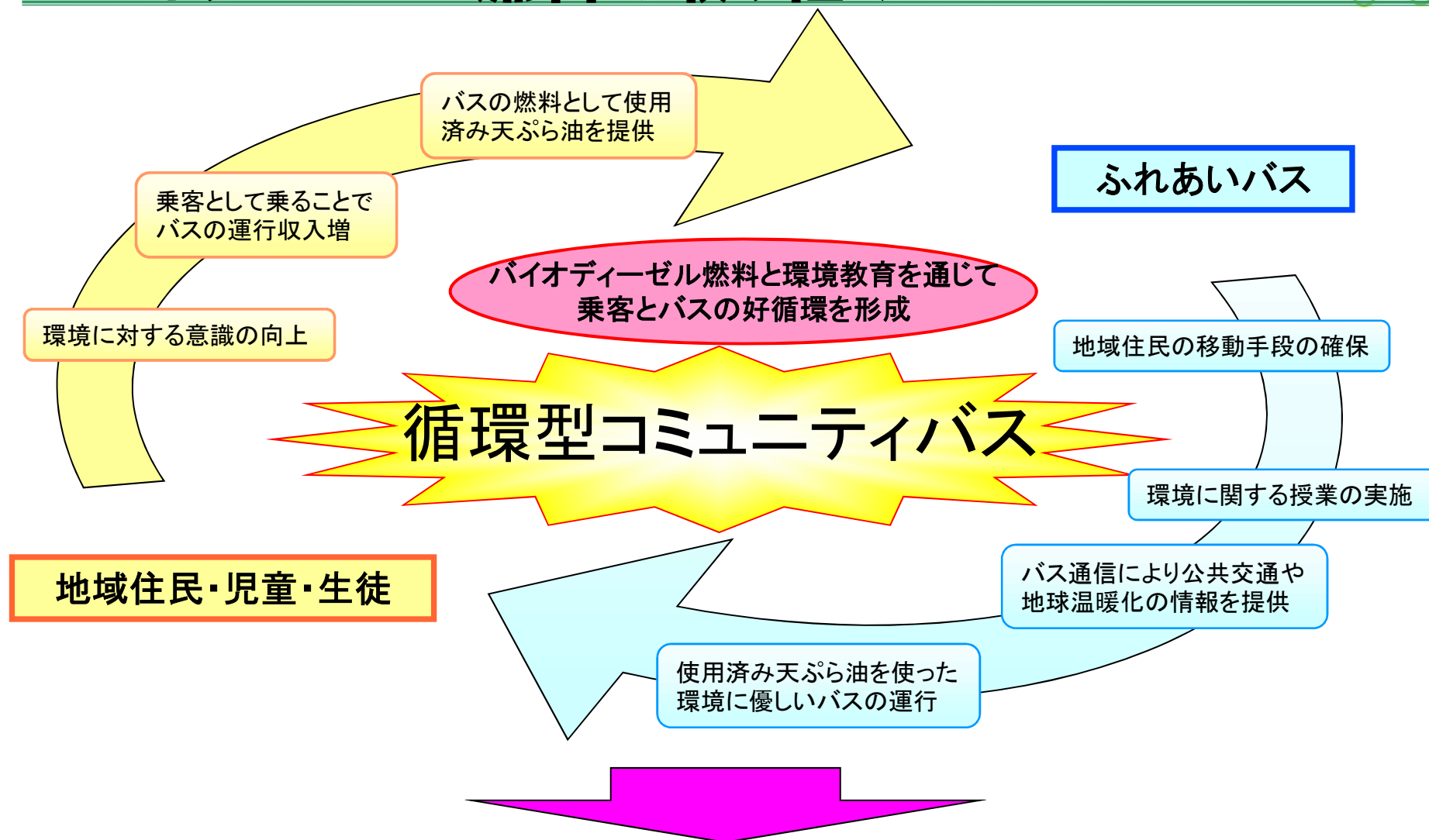
図書返却サービス 10月1日 スタート

「ふれバ」で本が返せます！

【ご利用方法】
●バス車内で本を運転手に渡してください。
●バスに乗らない方も、バス停で運転手に手渡すことができます。



バイオディーゼル燃料の取り組み



官・民・住民が一体となってバスを支える



取組の経過

- | | |
|-------|---|
| 平成18年 | 8月 下段モータースにて精製機を導入
10月 ふれあいバスに試験使用 |
| 平成19年 | 4月 ふれあいバスにて本格使用開始、全4台のバスで100%使用
8月 当別町役場他、町内2箇所で一般家庭からの回収を始める
11月 夏季の使用を終了 |
| 平成20年 | 4月 夏季の使用を開始(4台)
10月 町内小中学校で公共交通とBDFを題材とした環境教育を開始
11月 町内回収拠点を段階的に増加(3箇所→7箇所)
11月 夏季の使用を終了、冬季使用の試験実施(1台)
12月 オフセットクレジット創出モデル事業の申請 |
| 平成21年 | 1月 オフセットクレジット(J-VER)創出モデル事業の認可
7月 江別市スーパーで一般家庭からの廃食用油回収を開始
11月 冬季使用試験(2年目)の実施(2~3台) |
| 平成22年 | 3月 J-VER制度に基づく温室効果ガス削減プロジェクトの登録
11月 回収拠点の追加(2箇所)、札幌市北区と廃食用油回収の協力
7月 ANAとJ-VER取引に関する協定の締結
12月 54tのCO2削減量をJ-VERクレジット化(BDFでは初事例) |
| 平成23年 | 7月 ANAとJ-VER取引に関する協定の更新 |



廃食用油回収量と燃料使用量の推移

廃食用油回収量の推移

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
町内家庭	439	1, 338	3, 832	4, 506	4, 252	4, 562	4, 782
町内企業	16, 634	13, 417	14, 317	16, 309	15, 326	13, 977	14, 214
町外家庭			1, 803	3, 691	4, 384	5, 009	5, 176
町外企業	4, 245	7, 641	9, 008	9, 252	9, 740	10, 589	7, 320
合計	21, 318	22, 396	28, 960	33, 758	33, 702	34, 137	31, 492

バイオディーゼル燃料使用量の推移

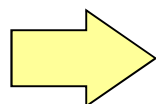
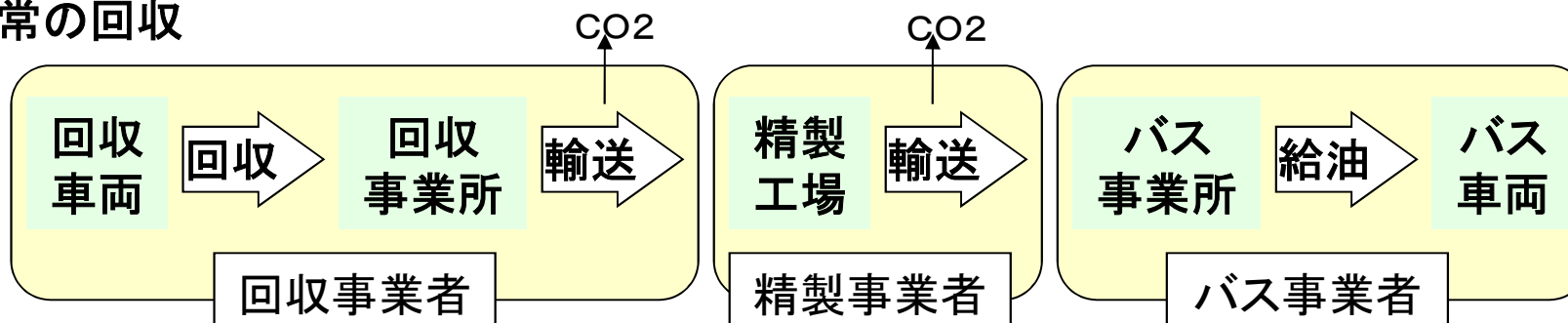
年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
バス使用燃料	44, 810	42, 689	47, 991	47, 179	43, 902	45, 838	51, 457
内軽油	24, 903	21, 541	20, 665	18, 437	11, 626	17, 426	25, 470
内BDF	19, 907	21, 148	27, 326	28, 742	32, 276	28, 412	25, 987
使用割合	44. 43%	49. 54%	56. 94%	60. 92%	73. 52%	61. 98%	50. 50%
経費節減額		1, 361, 721	842, 991	1, 303, 887	1, 726, 041	1, 477, 858	1, 403, 298

※ 平成19年度はデータ不足のため、経費節減額は試算不能



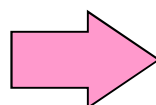
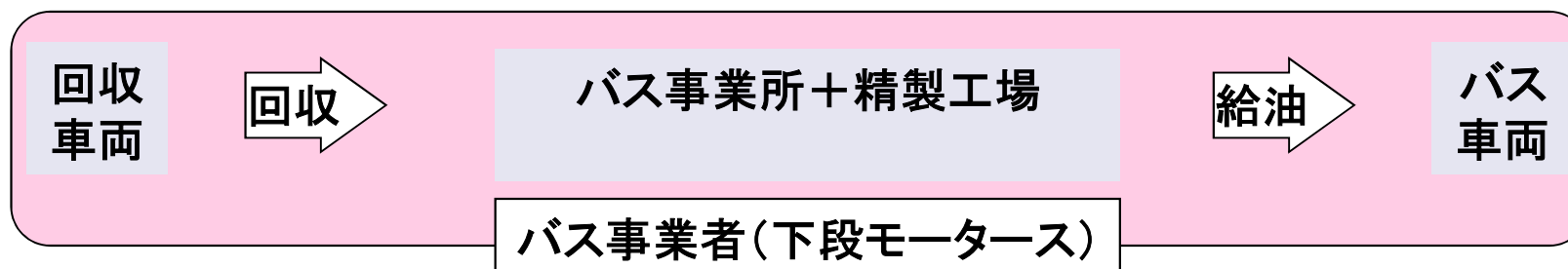
取り組みの特徴 ～ 回収から使用まで

通常の回収



関わる事業者が多いため、人件費が多くかかる
事業所間の輸送が発生するため、二酸化炭素が排出される

当別町の場合



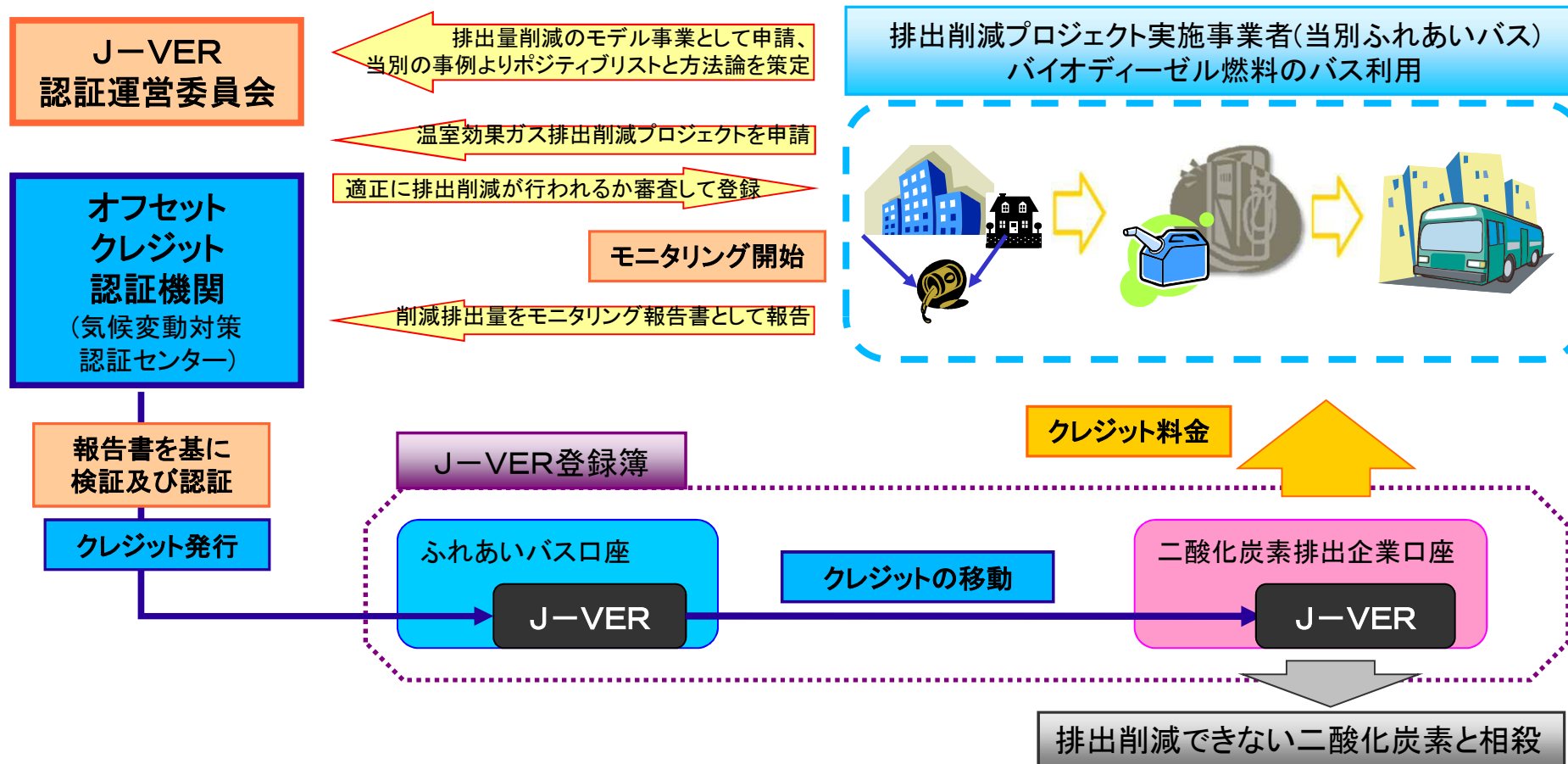
回収から精製、使用まで同一事業所が行うため、輸送によるCO2発生ゼロ！
精製と使用を同一事業者が行うこと、また下段モータースが自動車整備を業としているため、車両とバイオディーゼルの両方に精通し、トラブル対応も迅速。

J-VER制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト



当別ふれあいバスとオフセット・クレジット(J-VER)

環境省では、地球温暖化を防ぐ手法の一つであるカーボンオフセットを普及させるため、国内の排出量削減プロジェクトをカーボンオフセットに用いる事ができるオフセット・クレジット(J-VER)として認証する制度を始めた。当別ふれあいバスは、排出量削減プロジェクトのモデル事業として認定され、方法論策定の参考事例とされた。この方法論に基づき、平成22年12月、削減された温室効果ガス54tを全国で初めてJ-VER化した。



全日空との環境まちづくりパートナーシップ協定



環境まちづくりパートナーシップ協定

当別町地域公共交通活性化協議会と当別町は、全日本空輸株式会社(ANA)と、J-VERのクレジット取り引きに関する協定を、平成22年7月15日に締結した。

当別ふれあいバスで削減した温室効果ガスによるクレジットをANAが購入し、ANAオープンで排出される温室効果ガスとオフセット(相殺)する。またクレジット取引以外にも、当別町で実施している環境教育に、ANAが協力するなど、協定に基づき様々な連携を行う。

J-VERクレジットの提供
ANAのCSRへの協力

当別町
当別町地域公共
交通活性化協議会

全日本空輸
株式会社(ANA)

クレジットの購入
環境教育への協力
ふれあいバスでのANAロゴ使用

二酸化炭素の削減効果がある当別町のふれあいバス



バイオ燃料でバス運行
CO₂削減分を売買

【当別】石狩管内当別町と町内でコミュニティバス「ふれあいバス」(愛称・ふれバ)を運行する「町地域公共交通活性化協議会」は15日、全日空(東京)と「二酸化炭素(CO₂)排出量の売買に関する協定を結ぶ。環境省のCO₂量の認証制度「J-VER」を活用した取り組みで、公共交通機関同士では全国初の「ふれバ」は2006年度から運行しており、昨年度は約14万人が利用した。年間の燃料は約6割にあたる2万7千リットルをCO₂の削減効果の高いバイオディーゼル燃料(BDF)を使っている。軽油だけを使う場合に比べ約

当別町、全日空と協定 公共交通間で初

50トンのCO₂の削減効果があるという。全日空はこの削減分を全量購入する。購入額は今後決める。J-VERは国内の温室効果ガスの排出削減事業などで効果があったCO₂の削減量を認証する制度。当別町は今年3月にJ-VERに登録された。全日空は購入分を道内で開催する自社のゴルフ大会の送迎バスのCO₂排出分などに充てる。協定は果ては俊彦町長らが出席し、全日空本社で結ぶ。期間は来年7月まで。今回の協定について環境省は「全国でモデルになる取り組み」としている。